

電気事業連合会「エネルギートラベラー」

中学生向け動画教材制作

自発性育む学習法として注目

インターネット上には、さまざまなサイトがあり、まさに玉石混交。誤った情報をつかまないためにも、エネルギー教育に関するものは、できるだけ一次情報に近いデータを活用したい。全国の大手電力会社（旧一般電気事業者）10社で構成する電気事業連合会は、エネルギー教育に役立つ情報やデータを「情

報ライブラリー」として、また、授業などにも使用できる動画コンテンツは「電事連チャンネル」としてそれぞれまとめている。電気事業連合会はこのほど、中学生のエネルギー教育を支援するDVD・動画教材として「エネルギートラベラー」を制作した。この映像コンテンツを中心に紹介する。

「電気がどこから来るのか探してみよう——」

電気事業連合会は資源・エネルギー問題を身近に捉えてもらおうと、中学生向けの動画教材を制作した。キャラクターの「エネルギートラベラー」の案内で、電気製品を動かすエネルギーの産地や電源ごとの特徴などを学び、日本に適した発電方法の組み合わせ方を一人ひとりに考えてもらう。

帝京大学教職大学院の澁澤文隆教授が監修しており、社会科の地理・公民の授業に対応している。DVDとデータ集、教師用手引書の3点セットで、全国の中学校から希望のあった約千校に配布した。電気事業連合会のウェブページ「電事連チャンネル」から導入編とまとめ編に分けて視聴できる。

教材を使えば、50分間の授業を組み立てられるのが特徴だ。身近な電気製品を思い浮かべてもらい、電気がどこから来るのかを考えさせる。その上でデータ集とDVDを用い、資源の分布や世界のエネルギー消費量、発電方法の特徴などを説明する。「S+3E」（安全性、安定供給、経済効率性、環境適合）の視点から日本の電源構成の在り方を自ら考えてもらう。自発性を育む学習法として注目を集める「アクティブ・ラーニング」に対応した内容だ。

動画は「エネルギートラベラー」がエネルギー探求の旅をする設定だ。世界と日本のエネルギー事情を短時間で理解でき、効果



時空を超えた旅をしながら、世界と日本のエネルギー事情を理解できる

的に学習を進められる。

電気事業連合会は「今後も次世代層向けの広報・教育ツールを充実させたい」（広報部）としている。

また、「電事連チャンネル」には、電球型のゆるキャラ「ピカールくん」と一緒にエネルギーのことを学べるアニメーション「ひらめき！ピカールくん」など、次世代でも気軽にエネルギーを学べる動画も用意されている。

【電事連チャンネル】

<http://www.fepc.or.jp/movie/>

お役立ちウェブサイト

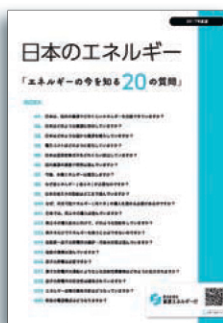
1 経済産業省・資源エネルギー庁

「日本のエネルギー2017」 エネルギーの今を知る20の質問

パンフレット（PDF 資料）

http://www.enecho.meti.go.jp/about/pamphlet/pdf/energy_in_japan2017.pdf

●日本のエネルギー自給率をはじめ、どのような資源をどの国・地域に依存しているのか、再生可能エネルギーの現状、放射性廃棄物の最終処分までエネルギーに関する「20の質問」に的確に答える。



3 環境省

「こども環境省」

<https://www.env.go.jp/kids/>

●環境省の使命や設立の経緯などをまとめた「環境省について」や部署ごとの政策、環境白書の中の環境課題をまとめた「こども環境白書」など環境に関する情報を網羅した。



2 電気事業連合会

「なるほど！日本のエネルギー」

エネルギーミックスを考える

<http://www.fepc.or.jp/theme/energymix>

●日本のエネルギー事情について、「S+3E」（安全性、安定供給、経済効率性、環境適合）のそれぞれの視点からイラストや図、データをふんだんに使い、分かりやすく解説した。



4 放射線教育支援サイト

「らでい」

<https://www.radi-edu.jp/>

●中学生理科の単元に加わった「放射線」に関する教育を支援するサイト。全国各地の実践の紹介や指導案集、Q&A集などで現場教師をサポート。ユーザー登録で授業支援も。



制作・発行

（一社）日本電気協会新聞部（電気新聞）
メディア事業局

〒100-0006

東京都千代田区有楽町1の7の1

☎ 03-3211-1555.FAX 03-3212-6155

www.denkishimbun.com



アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5名様に5,000円分の「QUOカード」を差し上げます。締め切りは2018年6月末日。

応募はEメールで。住所、氏名、電話番号を明記し、①今号を読んでの感想②エネルギー環境教育への意見③今号をどこで知ったか——を記入して、下記のアドレスまでお送りください。メールの件名には「エネエコ新聞プレゼント」と記入をお願いします。

応募アドレス media@denki.or.jp